

I

IBARAKI, The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms

B

A

R

A

K

I

茨城

会報

復興の
軌跡を
彰往考来の
ここに学ぶ



[特集]

第39回建築士事務所全国大会 [茨城大会]開催される!

[視察研修]

京都と琵琶湖畔の
名建築をめぐる旅

January
2016

62

茨城

一般社団法人茨城県建築士事務所協会／2016年1月第62号

目次

特集	新年のごあいさつ——本年も実り多き一年であることを祈って	第39回建築士事務所全国大会 「茨城大会」開催される！	当協会副会長 田中健一氏が国土交通大臣表彰を受賞 ——記念祝賀会が華やかに開催されました	年末懇親会	第51回明日を創る建築講座「土浦市立土浦小学校」 ——地域の文化を育み、地域と共生する、開放感に満ちた教育空間を視察	平成27年も「建設フェスタ」に参加して開催！ 建築士事務所キャンペーン	第32回会員親睦ゴルフ大会	常総市の豪雨被害に対応する県主催の「住宅相談会」に協力 ——予想をはるかに上回る相談者数や被害の内容にあらためて深刻さを痛感
		2	9	10	13	14	16	17

平成27年度賛助会総会・記念講演会 及び建築士会との合同大納涼会報告	18
理事会だより／委員会だより／褒章・表彰	19
新会員紹介	22
会員地域一覧	24
第29回茨城建築文化賞募集要綱	25
第2回茨城学生建築展のお知らせ	26
ちよつとブレイク to You／編集後記	27
視察研修	33
京都と琵琶湖畔の名建築をめぐる旅	37
第39回建築士事務所全国大会 「茨城大会」を終えて	37
実行委員会各部会リーダー・サプリーダーたちによる大会後記	37

本年も実り多き一年であることを祈つて

一般社団法人茨城県建築士事務所協会
会長 横須賀 満夫



新年あけましておめでとうございます。

日頃より本会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。本会は、設立以来31年になたつて、安心・安全の確保と良質で持続可能な生活環境の形成という社会的使命を果たす建築士事務所の組織として、様々な活動を精力的に行うことができました。これもひとえに、皆様のお力添えの賜物であり重ねて御礼申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願いいたします。

昨年は本会の一大イベントである建築士事務所全国大会が茨城大会として開催されましたが、その直前の9月下旬の関東・東北豪雨により、常総市を始めとする地域に甚大な被害がもたらされました。被災された方々にあらためてお見舞いを申し上げます。また、たくさんの会員のご協力をいただき、常総市で3日間に渡り住宅の応急修理相談を行いました。ご多忙中にもかかわらずご協力をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

立県民文化センターで、約1600名のご参加

をいただき、建築士事務所全国大会（茨城大会）を盛大に開催することができました。茨城大会につきましては2年半前に開催が決定し、その後大会準備のため実行委員会を立ち上げ、関係者各位の精力的な活動や会員及び賛助会員各位のご協力とご支援により、大会を迎えることとなりました。当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず大勢の方にご来場をいただき、大変な賑わいとなりました。また、大会式典後に水戸ブラザホテルで行われた記念パーティーにも500名を超える方々のご出席をいただき、こちらも大盛況となりましたことを併せてご報告いたします。茨城大会が成功裡に終了することができました。こうしたことは会員及び賛助会員の皆様、そして行政などの関係者の皆様のご尽力の賜物であり感謝申し上げます。また、大会には万全の体制で臨みましたが、行き届かない点がございました。ことについてはご容赦いただきたいと思います。

なることを期待しております。

今年も、昨年に引き続き喫緊の課題である会員の増強に取り組んでまいります。会員増強については、会員が少なくとその団体は社会から認知されず、会員や会に対する信頼性が高まらないことや、業界の大多数が加入しないことにより、会の要望や提言が実現しにくいデメリットがあります。日事連は加入率30%の目標値をあげており、関係者の絶大な協力が必要であります。皆様のご尽力により会員数は500名を超えておりますが、昨今の社会情勢により設計事務所自体が減少傾向にあります。このため、会員増強については日常の努力が肝要であると考えます。皆様におかれましては会員増強に取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

今年の干支は申であります。申には、草木が十分に生長し果実が実るという意味があるようです。本年が、皆様方にとりまして実りある良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。

全国から駆けつけた1600人の仲間と
喜びを分かち合い、絆を深め合った日。

第39回建築士事務所 全国大会「茨城大会」

開催される！

大成功に終わった全国大会「茨城大会」。
今号では、巻頭と巻末にカラー特集
を組んでお届けします。まず巻頭で
は、当日行われた対談、基調講演、記
念式典、展示、そして記念パティー
の模様を、それぞれの担当部会メン
バーによるレポートでお届けします。



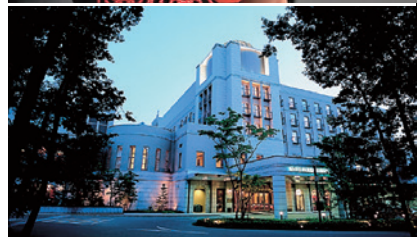
第39回建築士事務所全国大会

「茨城大会」

平成 27年 10月 16日(金)
茨城県立県民文化センター

主催 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会
主管 一般社団法人茨城県建築士事務所協会
協賛 一般社団法人栃木県建築士事務所協会
一般社団法人群馬県建築士事務所協会
一般社団法人埼玉県建築士事務所協会
公益社団法人千葉県建築士事務所協会
一般社団法人東京都建築士事務所協会
一般社団法人神奈川県建築士事務所協会
一般社団法人新潟県建築士事務所協会
一般社団法人長野県建築士事務所協会
一般社団法人山梨県建築士事務所協会

後援 国土交通省
茨城県
水戸市
公益社団法人日本建築士会連合会
公益社団法人日本建築家協会
一般社団法人日本建築学会
一般社団法人日本建設業連合会
一般社団法人全国建設業協会
一般社団法人茨城県建築士会
一般財団法人茨城県建築センター

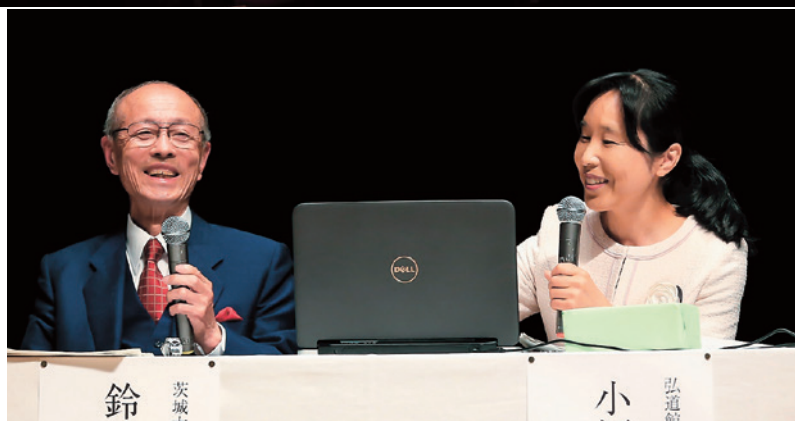


復旧を通じて発見した 弘道館の魅力



大震災の直後は、
その被害の大きさに
呆然としました
——小坪のり子氏

美しく復旧した弘道館を
中心にして、周辺地区の
世界遺産登録を
目指したいですね
——鈴木暎一氏



修復中の様子などをスクリーンで示しながら、和やかに弘道館について話を進めていく鈴木氏と小坪氏



この日、最初のプログラムとして行われたのが「弘道館の震災復旧事業に携わって―その過去・現在・未来を考える」と題した対談。茨城県の文化財保護に多大な貢献をされている茨城大学名誉教授・文学博士の鈴木暎一氏と、弘道館事務所史料研究業務嘱託員として活躍されている小坪のり子氏のお二人に、震災からの復旧事業を中心に弘道館についてのさまざまなお話を披露していただいた。

文：鎌田富士夫（講演・作品展部会）

国の重要文化財である弘道館はどんな学校で、どんな特色を持っていたのか、また、東日本大震災で甚大な被害を受けた弘道館がどのようにして復旧することができたのか。その経過や実情について、写真や部材の手作り模型を使い、時折ジョークも交えながら、復旧作業中に新たに発見された事柄に対するお二人の深い考察を楽しく学べる場となった。

終盤、テーマが「弘道館の将来について」に移ると、お二人は、「現在、三の丸周辺の価値ある歴史的建造物復元のための基礎作業が進められている。それを契機に、今後いろいろな工夫をしながら、目に見えるかたちで、城下町・水戸の風格を後世に伝える努力と、弘道館を含めた水戸の魅力在国内にとどまらず世界へ発信し、世界遺産登録を目指す努力をします」と、今後のさらなる夢を、爽やかに、しかし、明快に語られた。

対

談に続いては、基調講演として、「人びとの集まる、しなやかな建築」をテーマに、早稲田大学教授でもある建築家、古谷誠章氏と本県日立市出身の世界的建築家、妹島和世氏の対談形式による講演が行われた。

前半は妹島氏がフランスの「ルーヴル・ランス」、犬島の「家プロジェクト」、東日本大震災の被災地に建つ「みんなの家」、地元の「日立市庁舎」、ニューヨーク郊外の「グレース・ファーム・プロジェクト」について、古谷氏は小布施町立図書館「まちとしょテラソ」、「茅野市民館」、「桜山小学校」、鳥根県雲南市の桜まつりでの商店街の取り組み、東松島市の「森の学校」での活動などについて、スライドによる説明が行われた。

後半の対談では妹島氏の建物の「しなやかさ」にスポットを当てて対談が行われ、ランスの古い街に新しい建物を建てることで周りも良く見えるような建てられ方、そこに違った関係性が生まれるといった考えなどが説明された。

また、建設中の日立市庁舎のみんなの広場について、「特に用がなくてもそこにいったら誰かに会える、快適になる、イベントを企画しなくても使い方を見つけてもらえる、物や情報でなく場所が人をみんなをつなげる、そういう場所が作れたら」と語った。

基調講演

古谷 誠章氏・妹島 和世氏

人びとが集まることで「場」となる



たとえば妹島さんの
日立市庁舎には、人が集まり、
市民の想いがつながる場がある
——古谷誠章氏

用がなくてもつい行きたくなる、
日立に帰ったら必ず行きたくなるような、
人の「思い出」となる場にしたいですね
——妹島和世氏



いかにして人々が集まる場をつくるか、それぞれに手掛けた建築を例にひきながら話が進められた



文：篠根玲子（講演・作品展部会）

大会式典

式典は華やかに、リズムよく



- 【式次第】
- オープニング映像
- 開会宣言
- 来賓紹介
- 大会役員紹介
- 単位会紹介
- 大会実行委員長歓迎挨拶
- 日事連会長挨拶
- 来賓祝辞
- 水戸 PR（梅大使）
- 表彰式
- 審査講評
- 大会宣言
- 第 41 回開催地会長挨拶
- 大会旗伝達
- 閉会宣言

水戸市長とともに登壇した梅大使が、市長の挨拶に引き続いて水戸の魅力を PR し、式典会場に彩りを添えた

とでした。来賓の皆様に対してそのような指示を出すという行為は経験がなく、本当にいいのだろうかと思いつつ、急遽ボードを作成し、タイムキープの担当者にお願いました。結果として、挨拶を終えて式典の途中で退席された橋本知事にお礼を伝えるために舞台裏の通路にいくと「いやあ、あの残り時間の表示はいいね。いつも時間がわからなくなつて話が

長くなっちゃうんだ」と、とても喜んでいらしたので、安心したのと同時に、時間を明示することは失礼なことではないのか、と考え直しました。事前の式典部会では、来賓挨拶の時間は読めないの、時間通りに挨拶を終えてくれるのを願うしかないだろうという結論でしたが、おかげで一番の心配だった来賓挨拶の部分もほぼ時間通りに終了することができました。

展示

茨城らしさを展示の形に

それは大会前日におきました。届いた日事連建築賞パネルのスタイルが統一されていなかったことに加え、壁面への取り付けがもともと予定していた工法では無理なことが判明。急遽日事連の了解を得て、若干の見栄えを犠牲にした工法に変更することになりました。

しかし、同じ会場内に展示した茨城会のパネル展示と弘道館復旧映像の効果もあり、興味深く見入ってくださる来場者

が多くいらつしやり、とても嬉しく思いました。全体として茨城会らしい展示ができたと感じています。（鎌田）

広

報部会は実行委員会発足以前から、弘道館の修復工事記録映像担当委員会として活動してきました。これは横須賀会長の発案で、東日本震災で大きく被災した茨城の宝である弘道館の修復工事の映像を記録することで、茨

城会の活動を社会に発信・紹介できる絶好の機会と捉えたものです。シンプルでストーリー性もあり、かつ大会の柱としたいという思いから、記録は動画で残し、撮影は、映像のプロである株式会社文化メディアワークスにお願いし、弘道館事務所・施工した清水建設株式会社を始め関係各所の快諾を得て、平成 24 年 12 月、平成 26 年 3 月末まで工事の進捗に合わせ、撮影を行いました。この動画記録は全編で概ね 6 時間近くに及ぶもので、その内容を確認・検討した上で 10 分程のエンドレスで見ることが可能な、DVD 映像 3 巻に編集して放映しました。（富田）

それぞれの展示に熱心に見入る参加者が多く見られた



文：鎌田富士夫（講演・作品展部会） | 富田清一（企画・広報部会）



国土交通大臣代理
審議官 杉藤崇氏
衆議院議員
梶山弘志氏
茨城県知事
橋本昌氏



茨城県議会議員
細谷典幸氏
水戸市長
高橋靖氏

前

日の天気予報はとても微妙で、当日はいつ雨が降り出してもおかしくないような不安定な天候でした。今回式典を担当するにあたっては、3 年前に建築士会連合会の全国大会を経験させていただいているとはいえ、委員会のメンバーも、担当するイベント会社も違いました。イベントを行う際には毎回のことですが、何より大切なのが担当するメンバーに「ゲスト」ではなく、「キャスト」であるという意識をもってもらうことです。仕事の合間に協力いただくわけで、一人が担当できる仕事はそう多くはありません。少しでも多くの会員の皆様にご協力いただき、仕事量を分散させることがイベント成功の鍵であると考えています。そのために当日までに会議や打ち合わせを何回も繰り返し、前日のリハーサル時点ではそれぞれが自分の役割を十分理解していただいていた。前日のリハーサルでは予想外の事態や細かな変更がありました。おかげで担当の皆様にはそれぞれに対応していただき、当日にはすべて修正して臨むことができました。

当日の変更で一番悩んだのが、連合会から指示のあった、来賓挨拶の際に、来賓に対して「あと 2 分」「あと 1 分」時間です」という表示を出してほしいというこ

*人物写真は登壇順に掲載

もつとうまくやる！——そんな気持ちです。式典後、終わるのを待っていたかのようにたいへんな豪雨になりました。この雨がもう少し早く降っていたら来賓の誘導などにさまざまな支障をきたしたでしょう。

最後になりますが、本当に忙しい中、協力していただきました会員の皆様に心よりお礼を申し上げます。



衆議院議員盛山正仁氏 衆議院議員額賀福志郎氏



上：鏡開きは揃いの法被で威勢良く行われた
左：和歌山会は鮮やかな伝統的衣装で次回大会をPR



会場を熱く盛り上げた寺内タケシとブルージーンズ！

記

念パーティー会場の水戸プラザホテルへは、式典会場の県民文化センタールからシャトルバスで移動していただいた。式典閉会が少し遅れ、参加者が開始時間を過ぎても続々と到着しているため、約10分遅れでの開宴となった。

500名の参加者には単位会ごとに指定したテーブルを囲んでいた。横須賀会長の歓迎の挨拶に続き、盛山正仁衆議院議員、少し遅れて到着された額賀福志郎衆議院議員に来賓の挨拶をいただいた。続いて梅大使が登壇し華を添える中、鏡開き。田所嘉徳衆議院議員による乾杯の発声へと続いた。

しばしの歓談、食事のあと、第41回大会開催地の和歌山会が、次回開催をPR。地域の歴史的衣装に身を包んだ女性も参加

し、鮮やかな色彩の衣装で会場が華やいだ。

ステージ上ではアトラクションの準備が始まる。一方フロアでは奥久慈しゃも鍋や栗おこわなど郷土色豊かな料理の前に参加者の列ができている。準備した側としてはうれしい限りである。

さて、いよいよアトラクションである。入場テーマ曲に合わせてバンドのメンバーがステージ上に次々と現れ、最後に寺内タケシがステージに姿を見せた。ベンチャーズや「津軽じょんがら節」「別れの朝」という、参加者にとってなじみの選曲。曲間のMCでは、寺内氏自身の建築や茨城との関わりも披露された。可愛いらしいリードボーカルの女の子の登場などもあり、40分間たいへん熱く盛り上がった。

事前に心配していた「途中退場者が出たらどうしよう」という思いは完全に吹き飛んだ。

演奏終了後すぐに、羽石英夫相談役による楽しい中締め、そして連合会の宮原副会長による閉会の挨拶となり、記念パーティーは閉会となった。

最後までたいへんに盛り上がり、中途退席者も少なく、担当部会のメンバーにとってはもちろん、参加した皆様にも印象に残る記念パーティーになったのではと思う。

当協会副会長 田中健二氏が国土交通大臣表彰を受賞

——記念祝賀会が華やかに開催されました

祝賀会	
日時	平成27年8月11日〔火〕
会場	水戸市・中川楼
報告	広報委員会・事務局



国土交通大臣表彰を受賞された田中副会長

平成27年7月の平成27年度建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰において、田中副会長が栄えある国土交通大臣表彰を受賞されました。

建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰は、建設産業の各分野で長年にわたり精励するとともに関係団体の役員を務め、業界の発展に寄与した個人や地方業界の発展に寄与した団体などを表彰するものです。田中副会長は、茨城県建築士事務所協会設立当初より活動に参加し、理事・常務理事を歴任し平成26年度からは副会長として建築設計・工事監理業務の進歩改善と公共の福祉の増進に貢献され、業界の発展に大きく寄与された功績が認められ今回の受賞となりました。

この受賞をお祝いするため、田中副会長と日頃から親しくされている有志が集い、8月11日(火)に水戸市泉町の中川楼において、盛大に祝賀会が催されました。

当日は、舟幡副会長による開会の言葉で幕を開け、発起人代表として横須賀会長が

祝辞を述べました。次に、横須賀会長及び建築士会の柴会長より記念品の贈呈が行われ、次に、当協会と建築士会からお祝いの花束が女性陣を代表して柳下さんと若柳さんより贈呈されました。

続いて、田中副会長より「今回の表彰は、業界発展のために寄与した諸先輩や仲間たちの功績により受賞させていただいた。これからも業界発展のために微力ながら貢献していきたい」旨の謝辞があり、会場は拍手に包まれました。

その後、羽石相談役の乾杯の発声により祝宴に移り、盛大な中にも和気あいあいとした祝賀会となりました。最後に、河野副会長による中締めが行われ、祝賀会はお開きとなりました。

昨年の小室克己現常務理事の受賞に引き続き、本年田中副会長が受賞されたことは我々会員の誇りでもあります。これからも健康に留意され、ますますご活躍されることをご祈念いたします。誠にありがとうございました。



県建築指導課長 山田茂氏
 茨城県議会議員 西野一氏
 水戸市長 高橋靖氏
 衆議院議員 田所嘉徳氏
 茨城県議会議員 海野透氏



山崎賛助会代表幹事
 河野副会長
 田中副会長
 舟幡副会長

27年度（一社）茨城県建築士事務所協会年



写真上から左まわりに：新入会員の皆さんが登壇して挨拶／知事表彰を受けられた山田相談役に花束が贈呈されました／歳末助け合いチャリティーとして、茨城新聞文化福祉事業団様に10万円を贈呈／恒例のラッキーカードの司会はもちろんこの名コンビ。今年も大いに会場を盛り上げました／見事一等を獲得した常陽物産 高沢美智子さん。おめでとうございます！



年末懇親会

ご出席いただき、ありがとうございました



平成27年度茨城県建築士事務所協会年末懇親会が、平成27年12月4日(金)、三の丸ホテルにおいて開催されました。カレンダーも最後の一枚となり、何かとお忙しい中、213名もの皆様にご出席をいただき、ありがとうございました。

次に、知事表彰を受けられた山田相談役に対し、柴名譽会長より記念品が贈呈されました。

続いて歳末助け合いチャリティーとして、茨城新聞文化福祉事業団様に10万円を贈呈しました。

その後、茨城県土木部都市局技監兼建築指導課長の山田茂様による乾杯の発声とともに会場は和やかな雰囲気となり、おいしい料理に舌鼓を打ち、アルコールも入り、おしゃべりに、名刺交換にと、賑やかさを増していました。

恒例のラッキーカードの抽選会では、軽部理事の名司会も手伝って会場は大いに盛り上がりしました。商品を提供してくださった各社様、ありがとうございました。

中締めは、山崎賛助会代表幹事の三本締め、そして河野副会長の閉会の言葉で懇親会はお開きとなりました。

出席いただいた皆様、ありがとうございました。平成28年の年末も元気でおいでできることを楽しみにしています。



写真上：木材をふんだんに使った3層吹き抜けの中央コミュニティホール。自然光がさしこむ開放的な空間が印象的
 写真下左から：建物概要について説明する横須賀満夫建築設計事務所の菊地氏／校内を見学する参加者

平成27年8月8日(土)に、第28回茨城建築文化賞最優秀賞に輝いた、土浦市立土浦小学校の視察研修を行いました。

最初に河野副会長の挨拶があり、続いて株式会社横須賀満夫建築設計事務所の菊地茂光氏より建物の概要について説明がありました。今回の学校計画は多様な自然文化遺産を保持しながら、地域文化を育む役割を担うことを意図とされていること。外観的には、施設を機能ごとに分節し、ボリューム感を抑えるとともに、勾配屋根の連なりや近隣の建物にみられる格子モチーフとしたルーバーなどにより、街の風景との調和を図ったこと。逆に近隣の方が外観デザインの一部を住宅のファサードに取り入れた話などもありました。

内部空間については、開放感があふれる自然採光を取り入れた3層吹き抜けの中央コミュニティホールを核に学校全体を一体化させ、弾力的な活動を行える教育空間というコンセプトでした。子供たちが良好な環境のなかで学習・交流等の学校生活を過ごせる教育の場にふさわしい建物であると感じました。

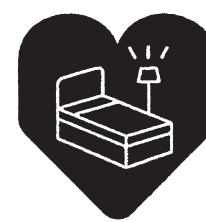
来年度も当事業を実施予定ですので、ぜひ皆さまご参加ください。

第51回明日を創る建築講座「土浦市立土浦小学校」

地域の文化を育み、地域と共生する、開放感に満ちた教育空間を視察

年末懇親会

終わりよければすべて良し。1年の締めくくりにたくさんのすばらしい笑顔が集まりました。



ホテル



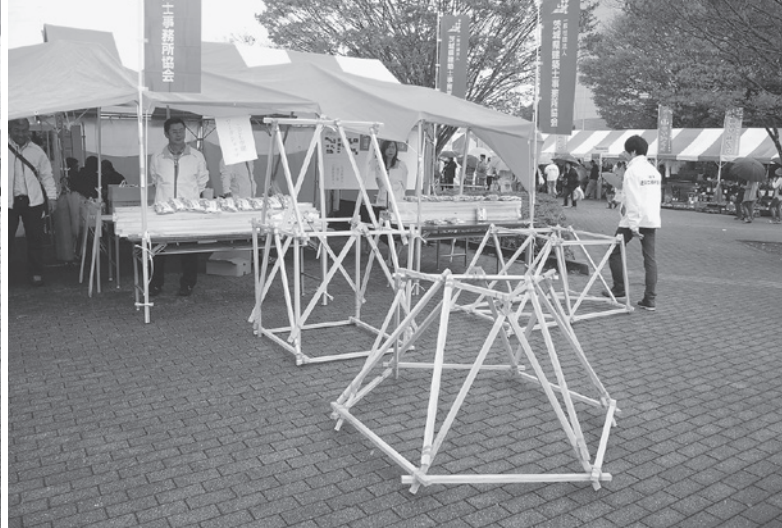
ウエディング



レセプション

ココロに効く場所 *happy space*

SANNOMARU HOTEL
 三の丸ホテル
 水戸市三の丸2-1-1/TEL 029-221-3011(代)



杉の角材をさまざまな形に組み上げて満足げな表情の子どもたち

「子ども空間ワークショップ」での作品。目をひきます

スタッフも紙ぶるるづくりに挑戦

上：スタッフそろって記念撮影
右：今年も苗木配布に長蛇の列

平成27年も
「建設フェスタ」に
参加して開催！

建築士事務所 キャンペーン

平成27年11月8日(日) 笠松運動公園広場

毎年、茨城県建築士事務所協会を挙げて行っている「建築士事務所キャンペーン」。広報委員会が中心となり、総務委員会と会員委員会が力を結集し、数ヵ月の準備期間を経て実現させています。平成27年は、4回目の試みとして、「建設フェスタ」に参加しての開催となりました。当日の会場の様子を紹介します。

報告——広報委員会 中崎 妙子



右：建築文化賞の入賞・入選パネルに熱心に見入るお客様も
下：今年も紙ぶるるは大人気

完成した紙ぶるるを手にとり。上手にできてます！



去る11月8日(日)、ひたちなか市笠松運動公園にて行われた「建設フェスタ2015」に、例年通り「建築士事務所協会キャンペーン」として参加した。あいにくの雨模様のお天気だったが、多数の県民、地域住民の方たちに来場していただいた。

今年の事業概要としては、これまでと同様の「苗木等の配布」「筋交い模様の紙ぶるる」に加え、新たに「子ども空間ワークショップ」、「弘道館震災復旧工事記録映像」、そして、日本産業株式会社、江戸川木材工業株式会社のご協力のもとでの「耐震・制震の立体模型展示」と、多岐に渡る形で行われた。

「子ども空間ワークショップ」では、杉の角材(20×25)を輪ゴムで組み上げていき、その形をイメージする・形を支える・伸ばす、そして完成したら解体し、また作る——その工程の中で立体形の変化・創造を子供たちに体験してもらった。

また、「弘道館震災復旧工事記録映像」では、被害の大きさ、そして元の形を取り戻す経緯、それらがいかに大切かを改めて観てもらった。

毎年行われる建設フェスタであるが、建築物・構造の重要性、創造性・発展性を広く周知していく意味でも、継続の大切さを実感した。

地震対策なら

新築にも リフォームにも

Hiダイナミック制震工法

【開発・販売】江戸川木材工業株式会社
TEL:03-3521-3190 FAX:03-3521-3190
【技術協力】日立オートモティブシステムズ株式会社

相談会	
日時	平成27年9月26日〔土〕～28日〔月〕
会場	県立水海道第一高校
報告	広報委員会副委員長 小谷野 栄次 広報委員会 浅野 祐一郎



150組に被害のヒアリングと「応急修理制度」の説明を行ったが、詰めかけた方すべてへの対応はできなかった

平成27年9月10日に常総市を襲った豪雨水害で自宅が浸水したり壊れたりした被災者を対象に、茨城県は9月26日、27日、28日の3日間、住宅相談会を行いました。初日は常総市の茨城県立水海道第一高等学校で行い、茨城県建築士事務所協会からは4名の茨城県住宅耐震・リフォームアドバイザー登録者が県住宅課の協力をしました。相談は9時30分開始予定でしたが、7時ごろには相談者が詰めかけ、時間を早めて8時前から開始しました。午前中だけでも想定を上回る500組近くが詰めかけたようで、対応しきれないため初日は先着150組で打ち切りました。そのため並んで待っていた人々から不満が続出したようです。

相談窓口でも不満の声が聞こえました。この日は、自宅が全壊または流失した場合の公的住宅の無償提供や、大規模半壊か半壊した場合に適用される「応急修理制度」について説明することが主な目的で、修理の方法や施工等についての相談は、時間の都合上できませんでした。相談者からは応急修理を行う3ヶ月の期間制限や工事費の助成金に対する不満が出ていました。被災者の聞きとりをして、事前に想像した以上の被害の内容と規模であることを実感しました。今後も建築に係わる者として何らかの役にたてばと考えています。（小谷野）

相談会は県住宅課の担当者和我々派遣組の2名体制で行われ、被害程度のヒアリングから始まり、その後災害救助法に基づく「住宅の応急修理制度」の手続きに関する説明が主となった。被害状況は様々で、半壊か大規模半壊かに分けられる基準は、床上1.0m以上か未満かで決定される。正式な判断は常総市の担当者により罹災証明によって判断されることになる。相談に来られた方はほぼ全員床上浸水の被害者であり、床上2.0mまで浸水した方、新築して5年程度で修繕には約1300万円の見積りが出ているなど多額の費用に困り果てた方など。また、床、壁等の被害の他、特に深刻だったのは水を被ってしまった電気ボイラー、ガスボイラー、流し台、ユニットバス、エアコン屋外機、テレビ、冷蔵庫等住宅設備、電化製品がすべて使い物にならなくなってしまうこと。東日本大震災においても、応急危険度判定として現地調査、住宅相談等を担当し被害状況を確認したが、震災による被害は屋根瓦の落下、内外壁のひび割れ等が主で、生活しながらの修繕が可能であった。しかし今回の洪水被害においては床材、壁材の修繕は生活しながらでは行えず、また住宅設備、電化製品等は生活に直結する部分が多く、早急な修繕が必要であり被害が深刻であることを実感した。（浅野）

常総市の豪雨被害に対応する県主催の「住宅相談会」に協力

予想をはるかに上回る相談者数や被害の内容にあらためて深刻さを痛感

ゴルフ大会	
日時	平成27年9月15日〔火〕
会場	富士カントリー笠間倶楽部
報告	会員委員会 小坪 真司



茨城新聞文化福祉事業団様にチャリティー金を贈呈

成績表（敬称略）

優勝	永森 隆	ネット72.0
準優勝	万道 博志	ネット72.4
三位	渡辺 章夫	ネット73.0
ベスグロ	小沼 隆志	グロス82



見事優勝した永森氏（右）と準優勝の万道氏（左）。横須賀会長とともに

第32回茨城県建築士事務所協会会員親睦ゴルフ大会が、平成27年9月15日に富士カントリー笠間倶楽部において、多くの皆様の協賛をいただき盛大に開催されました。

全員のラウンド終了後、15時40分より同クラブハウスにて表彰式が行われました。

始めに横須賀満夫会長より参加御礼のご挨拶とともに、翌10月に茨城県で開催される全国大会に向けて協会会員のさらなる団結と協力を、とのお話がありました。

新ペリア方式による成績発表では、優勝は永森隆氏（ネット72・0）、準優勝は万道博志氏、三位に渡辺章夫氏が入賞となり、順位発表の度に拍手やねぎらいの言葉が交わされていました。また多くの協賛をお寄せいただき、参加者全員に賞品が手渡されるなど、終始和やかな表彰式となりました。

大会の4日前には、豪雨により鬼怒川堤防が決壊し、常総市では甚大な被害が発生しました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、不幸にして亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

大会参加者からのチャリティー金11万円は、この度の災害復旧とお見舞いにお役立ていただけるよう、横須賀会長より公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団様へ手渡されました。

壮大なフィールドに広がるダイナミックな 27 ホールは
ゴルフ本来のチャレンジ精神をかきたてる

富士カントリー笠間倶楽部

〒309-1602 茨城県笠間市池野辺 2523 番地
TEL 0296-72-8111
FAX 0296-72-8534
URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております

平成27年度賛助会総会・記念講演会 及び建築士会との合同大納涼会報告



写真上段：賛助会総会および記念講演の様子
写真下段：建築士会との合同納涼会風景

平成27年度賛助会総会が平成27年7月24日(金)にホテルテラスザガーデン水戸にて開催されました。

横須賀会長の挨拶に続き、代表幹事の挨拶があり、その後議題の審議に入りました。今年度の事業等について審議可決され、総会は滞りなく終了しました。

その後、同会場にて、「千波湖水質浄化について」と題して、環境ウィザード株式会社 櫻場誠二氏並びに、一般社団法人茨城県環境管理協会環境事業部の川島省二氏による講演が行われました。

茨城県水戸市の財産である千波湖を、後世に残すことの重要性を再認識できた、価値ある講演内容でした。

総会終了後、会場を替えて、建築士会との合同大納涼会を開催しました。来賓の方々からのご挨拶をいただき、乾杯を行った後、正会員122名と賛助会員104名との交流が盛んに行われ、意義ある懇親会となりました。

交流会	
日時	平成27年7月24日[金]
会場	ホテル テラス ザ ガーデン水戸
報告	会員委員会 渡辺 昌弘

理事会だより／委員会だより

理事会だより

平成27年6月24日(水)

- 1 各委員会の活動状況報告
- 2 日事連会議等報告
- 3 平成27年度要望書について
- 4 賛助会及び合同納涼会について
- 5 平成27年度全国大会(茨城大会)について
- 6 正副委員長会議について
- 7 会費未納者について
- 8 会員増強について
- 9 新入会員の承認について

平成27年8月26日(水)

- 1 各委員会の活動状況報告
- 2 日事連会議等報告
- 3 平成27年度全国大会(茨城大会)について
- 4 建築士事務所キャンペーンについて
- 5 平成27年度要望書について
- 6 会員増強について
- 7 新入会員の承認について

平成27年10月28日(水)

- 1 各委員会の活動状況報告
- 2 日事連会議等報告
- 3 平成27年度全国大会(茨城大会)報告について
- 4 収支仮決算について

- 5 第29回茨城建築文化賞について
- 6 平成27年度要望書について
- 7 建築士事務所キャンペーンについて
- 8 年末懇親会について
- 9 会員増強について
- 10 新入会員の承認について

平成27年12月4日(金)

- 1 各委員会の活動状況報告
- 2 日事連会議等報告
- 3 平成27年度全国大会(茨城大会)報告について
- 4 茨城建築学生表彰事業について
- 5 会員増強について
- 6 新入会員の承認について

委員会だより

総務委員会

委員長 井坂 光宏

1 第2回茨城学生建築展

県内の建築系学科を有する各学校(高校・専門学校・大学)と連携して、学生の優秀作品を表彰しエールを送りつつ、さらに学生たちの交流を深めようとする「第2回茨城学生建築展」を開催します。展示会

場は、前回と同じ笠間市の「笠間の家」です。展示期間は平成28年2月17日から2月21日(10時～16時、最終日午後表彰式)までとなります。第1回は茨城大学、筑波大学、筑波研究学園専門学校、日建工科専門学校、専門学校文化デザイン学院、県立下館工業高等学校、県立つくば工科高等学校、県立土浦工業高等学校、県立水戸工業高等学校の9校から計37作品の応募がありました。現在、第1回の経験と反省を元に、第2回の開催の準備をしているところです。会員の皆様にはぜひ足を運んで学生たちの作品を見ていただければと思います。

2 第29回茨城建築文化賞

茨城県内において、地域の周辺環境に調和し、かつ、景観上及び機能的に優れている建築物等を表彰し、文化の香り高い魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として実施しています。今年の募集は、平成28年1月4日から2月29日までです。より多くの力作が提出されまよう、皆様のご協力をお願いします。

多彩なニーズに対応する未来型都市型ホテル
どうぞよろしくお願いいたします。



HOTEL TERRACE
the GARDEN MITO

〒310-0015 水戸市宮町1-7
TEL. 029-300-2500 (代表) FAX. 029-300-2545



企画委員会

委員長 柳下 文江

1 建築行政との交流会

建築行政と開発関係についての交流会をつくば市、土浦市と合同で開催できるように調整中です。ご期待ください。

2 特殊建築物定期報告及び耐震診断周知啓発事業

相次ぐ事故の発生により、報告制度が重要な位置付けになっています。業務内容も密度の濃いものになり、それに伴い責任も重大となります。定期報告や耐震診断の必要性を民間建築物にも広く啓発していきます。

3 住宅相談

毎月第1・第3土曜日に住宅相談を水戸とつくばの建築センター内で行っています。また県内各地でのイベント時にも住宅相談員の派遣を行い、住民のご相談に対応しています。特にリフォームアドバイザーの資格を持たれている会員のさらなる協力をお願いします。

4 建築関連団体研修会

賛助会員各位が所属する関連企業との積極的な交流の場として、今年度は内外装について会員の研鑽の場になるよう2月

吉野石膏株式会社北関東支店宇都宮営業所
柴田 修
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-4-22
Tel.028-643-6066
[紹介者] 池田真一



株式会社広報社
香 嶋 貴
〒310-0841 水戸市酒門町4342-1
Tel.029-247-8071
[紹介者] 根本洋一郎



千代田工営株式会社
佐 山 博 範
〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区
上小町940
Tel.048-642-5252
[紹介者] 横須賀満夫



株式会社文化メディアワークス
桐 原 勝 律
〒310-0026 水戸市泉町1-3-22
リリースクエア4F
Tel.029-221-4813
[紹介者] 小室晶



ベアアンドジェイ有限会社
及 川 譲
〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡3523-76
Tel.029-291-2046
[紹介者] 金澤重雄



阿部興業株式会社水戸支店
飯 島 信 忠
〒312-0054 ひたちなか市はしかべ1-2-20
Tel.029-273-2525
[紹介者] 高槻一雄



株式会社鹿島技研
石 橋 寿 夫
〒289-1204 千葉県山武市戸田227-1
Tel.0475-80-8221
[紹介者] 塚本美明



株式会社伊勢基本社 水戸プラザホテル
綿 引 章 博
〒310-0851 水戸市千波町2078-1
Tel.029-305-8111
[紹介者] 宮本久



みなさま、よろしくお願いいたします。

会員委員会からのごあんない

当協会正会員が
建築設計または工事監理する
住宅についての、お得な情報です。

常陽銀行の住宅ローンを
利用すると、店頭金利より
最大マイナス1.50%が適用されます。

下記条件をすべて満たす場合、上記が適用されます。

- ・施主様が常陽銀行で給与振込（常陽銀行規定による）を利用中
- ・常陽銀行指定のカードローンを契約中（または新規に申込み）
- ・常陽銀行指定のクレジットカードを契約中（または新規に申込み）
- ・常陽ダイレクトバンキングアクセスJを契約中（または新規に申込み）
- ・茨城県建築士事務所協会の正会員が建築設計または工事監理する住宅

詳細は事務局までお問い合わせください。当協会ホームページでも資料をご覧ください。

茨城県建築士事務所協会事務局 TEL.029-305-7771／FAX.029-305-7791／E-mail: ikyokai@i-jk.org
ホームページ <http://www.i-jk.org>

平成28年3月31日まで
に申し込み、平成28年5
月31日までに借入れた方
に限りです。お急ぎを！

相沢建築設計事務所
相 沢 誠
〒300-0839 土浦市滝田2丁目151
Tel.029-879-8629
[紹介者] 若柳綾子



井坂建築研究所
井 坂 一 二
〒310-0852 水戸市笠原町682-13
Tel.029-305-3118
[紹介者] 小坪真司



株式会社磯良工務店
磯 良 真 一
〒311-1235 ひたちなか市田中後42-2
磯良ビル3F
Tel.029-263-1155
[紹介者] 金澤重雄



浦井建築設計事務所
七 川 雄 治
〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡1797
Tel.029-292-0224
[紹介者] 宇留鷲博一



株式会社エフ企画設計室
藤 井 昭 博
〒310-0842 水戸市けやき台3-26
ヴェルデけやき107号室
Tel.029-291-5677
[紹介者] 坪浩一



岡田建築設計事務所
岡 田 務
〒300-0871 土浦市荒川沖東1-4-28
Tel.029-841-0844
[紹介者] 金澤重雄



佐藤建設株式会社
佐 藤 秀 行
〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町3695
Tel.0297-62-7111
[紹介者] 小坪真司



株式会社鶴亀
関 浩 一
〒319-0126 小美玉市大谷790-29
Tel.0299-47-0881
[紹介者] 金澤重雄



有限会社原建築事務所
原 正 樹
〒311-1704 行方市山田1008-3
Tel.0291-34-6800
[紹介者] 橋本照雄



パルつくば株式会社一級建築士事務所
金子他喜男
〒305-0032 つくば市竹園2-18-4
Tel.029-855-1611
[紹介者] 小林次夫



広沢商事株式会社
宮 城 則 之
〒308-0813 筑西市大塚595-8
Tel.0296-21-1234
[紹介者] 横須賀満夫



ミリオン・デザイン・ワークス
吉 田 富 江
〒305-0021 つくば市古来698-1
Tel.029-850-6568
[紹介者] 金澤重雄



株式会社クラフト一級建築士事務所
稲 村 富 士 男
〒300-0815 土浦市中高津1-15-17
Tel.029-835-2811
[紹介者] 青山立美



株式会社下妻建設建築設計事務所
山 本 宗 一
〒304-0028 下妻市木下戸350
Tel.0296-44-3104
[紹介者] 軽部守彦



株式会社中嶋建築設計事務所
中 嶋 紀 行
〒300-4517 筑西市海老ヶ島542-12
Tel.0296-52-4838
[紹介者] 大山早嗣



株式会社ノーブルホーム一級建築士事務所
福 井 英 治
〒310-0852 水戸市笠原町1196-15
Tel.029-305-5555
[紹介者] 宮本久



拓住建一級建築設計事務所
野 口 順 一
〒310-0853 水戸市平須町1828-279
Tel.029-244-7097
[紹介者] 塙秀之



株式会社ecocity一級建築士事務所
小 河 原 利 之
〒310-0004 水戸市青柳町900-1
Tel.029-212-4550
[紹介者] 丸山好史



ダイコウ一級建築士事務所
高 野 耕 治
〒311-3801 行方市行方2108-1
Tel.0299-77-0888
[紹介者] 橋本照雄



株式会社オセヤー一級建築士事務所
藤 田 富 夫
〒312-0047 ひたちなか市表町6-8
Tel.029-274-3434
[紹介者] 渡辺章夫



みなさま、よろしくお願いいたします。

茨城建築文化賞は、茨城県内において、地域の周辺環境に調和し、かつ、景観上及び機能的に優れている建築物等を表彰し、もって文化の香りの高い魅力のあるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として実施するものです。本年度も、皆様のふるってのご応募をお待ちしております。

1. 募集対象

茨城県内に建築(増築、改築も含みます)された建築物及び一定の計画のもとに整備、再開発された商店街など一連のまちなみを形成する建築物群(以下「建築物群」といいます)で、次の要件に該当するものとします。ただし、国指定の重要文化財及びこれに類するものは除きます。

[要件]

- 1)平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に竣工したもの(竣工の日は検査済証の交付日とする。再応募可。ただし、受賞作品は除く)
- 2)茨城県内に建つ対象物を設計した設計事務所(設計共同企業体の場合は全ての事業者名を記入すること)
注:建築物には、住宅等(併用住宅)、店舗、ホテル、旅館又は古い民家、商家等の修復されたもの、或いは工場建築・住宅団地なども含まれます。また、省エネルギー及び環境へ配慮した建築物も含まれます。

2. 応募方法

- 1)応募の方法は、応募用紙に必要事項を記入し、建築物と周囲の景観がわかるカラー写真(キャビネ判6枚一内観3枚、外観3枚を原則とする。貼付不可。撮影位置記入)、配置図(周囲の状況を把握できる資料添付可)、平面図、立面図、断面図(A3サイズ各1枚、図面内に説明書きと写真添付、事務所名等記載のあるものは不可)及び登録料を添えて送付してください。応募作品は返却致しません。

- 2)応募用紙は、(一社)茨城県建築士事務所協会にあります。(申込があれば郵送致します)

3. 受付期間

平成28年1月4日(月)から平成28年2月29日(月)まで

4. 登録料

1件につき会員3,000円、 会員以外6,000円

5. 審査

- 1)応募のあった建築物は、茨城建築文化賞審査委員会が応募作品の審査を行い総合評価します。
- 2)審査の過程で、設計図書等の資料の提出を求めることがあります。
- 3)優秀作品については、必要に応じ現地審査を行うことがあります。その際の立会いは必要ありません。

6. 賞の決定等

審査の結果、特に優れている建築物及び建築物群の中から、次の各賞を決定し、平成28年4月末日までに、該当者に通知します。
茨城建築文化賞・最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、住宅部門優秀賞(3点以内)、入選(10点以内)、特別賞(省エネルギー賞・リフォーム賞等)。このうち特に優れたものについては、知事賞(10万円)、県議会議長賞(5万円)、県土木部長賞(3万円)、茨城新聞社賞(3万円)、住宅部門優秀賞(3万円)を設けています。

7. 表彰

各賞該当者の建築物及び建築物群については、賞状及び副賞をもって設計事務所を表彰します。また会報誌及び新聞、ホームページ等に提出された書類及び写真等を公表します。その際著作権等のための料金は支払いません。尚、応募作品は当協会各事業において、作品展示等に使用させていただくことがあります。展示にあたっては、受賞事務所のプレゼンテーションにて、再提出可と致します。

8. 審査委員

小場瀬令二氏(国立大学法人筑波大学名誉教授) 小柳武和氏(国立大学法人茨城大学大学院理工学部研究科特任教授) 長島一道氏(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科教授) 山田茂氏(茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長) 中村浩氏(茨城県土木部技監兼都市局住宅課長) 鈴木安行氏(茨城県土木部営繕課長) 野澤謙次氏((一財)茨城県建築センター理事長) 柴和伸氏((一社)茨城県建築士会会長)

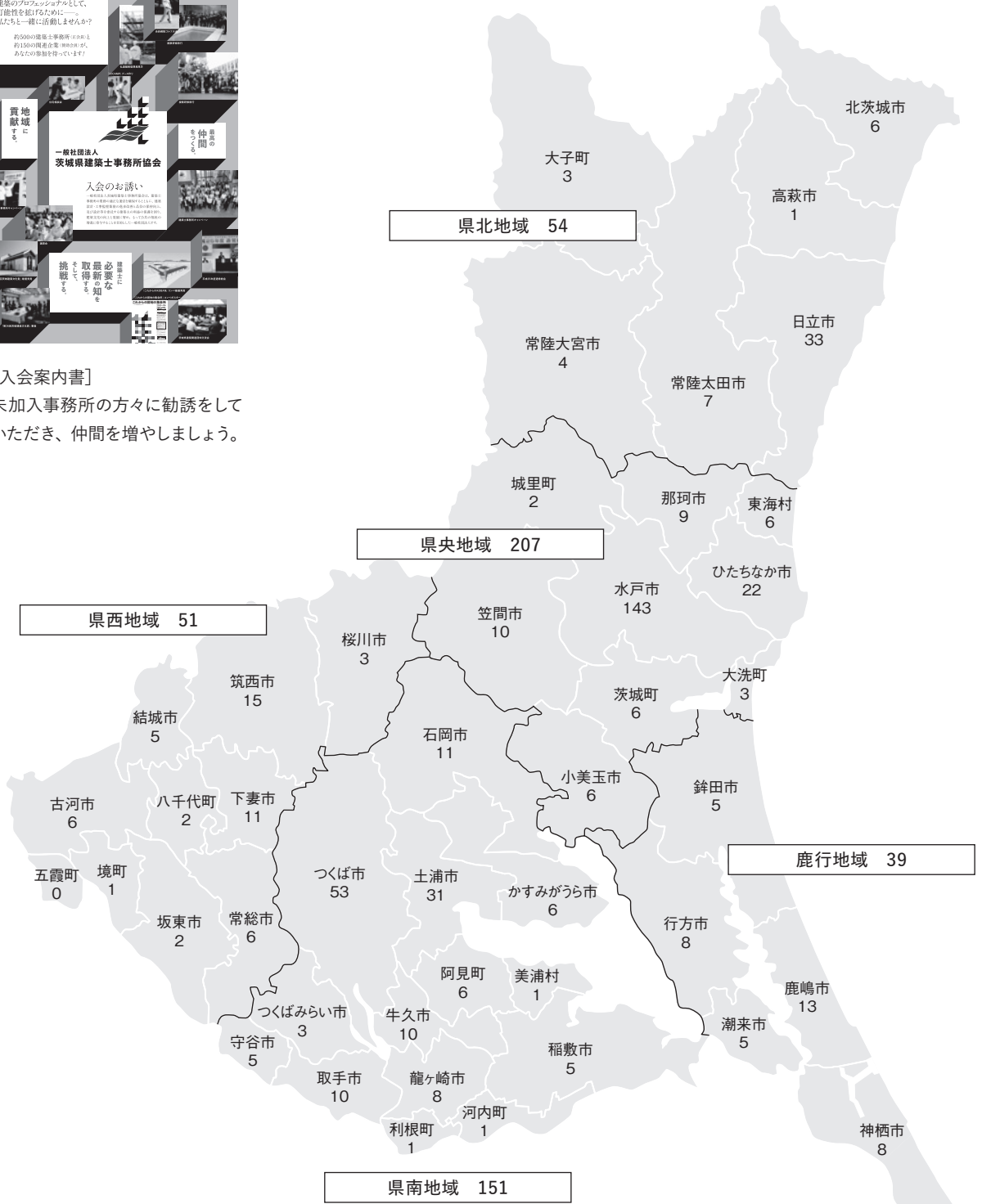
主催:(一社)茨城県建築士事務所協会
協賛:(一財)茨城県建築センター、(一社)茨城県建築士会、(一社)茨城県設備設計事務所協会、(一社)茨城県建設業協会
後援:茨城県、(株)茨城新聞社、(株)日本工業経済新聞社、(株)日本建設新聞社

応募の宛先／お問い合わせ
(一社) 茨城県建築士事務所協会
〒310-0852
茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階
TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791
E-mail: ikyokai@i-jk.org

平成27年12月現在
正会員 502事務所
賛助会員 154社 計656
※市町村の数字は、正会員数を示します。



[入会案内書]
未加入事務所の方々に勧誘をしていただき、仲間を増やしましょう。



トリプルスリー受賞おめでとうスペシャル！

ちょっとブレイク to YOU

大槻 薫さん 一級建築士事務所アート工房 KAORU

メトロ(地下鉄)車内を遠近手法で描き、人間の姿像を入れた独特な表現の絵画を精力的に創作し、各賞を受賞されている大槻さんに話を伺いました。

——2015年はいろいろな絵画展覧会で受賞されたそうですね。「はい、おかげさまで第47回水戸市芸術祭で奨励賞を、第100回二科展では会友推挙2点展示、第50回茨城県芸術祭美術展覧会では優秀賞をいただきました。また、帝国ホテルで展示販売や、二科会春季展で選抜され展示も行いました」

——5年で二科の会友推挙とは快挙ですね。しかも3冠でトリプルスリーですね！

「いえいえ、まだまだです。今までは一般審査でしたが、今年は二科会会友になりましたので、さらに上を目指して高い評価をいただけるような絵を創作したいと思います」

——おめでとうございます。今後のご活躍に期待しています！



茨城県芸術祭美術展覧会にて優秀賞受賞作品の前で



水戸市芸術祭奨励賞受賞作



二科展会友推挙展示の一点

編集メンバー

早川 富二雄 大山 早嗣 小谷野 栄次 市毛 純一 清水 忠 埗 秀之 富田 清一
鈴木 啓之 中崎 妙子 杉田 均 浅野 祐一郎 江面 松男 関根 貴雄

編集後記

昨年12月の小委員会の直前に体調を崩し、病み上がりで校正作業を行っていたところ、文字を追って目が回るということを初めて経験しました。反省…。残りの原稿がひととおり揃ったことを確認しての編集後記となりました。今回は全国大会の報告記事を中心に構成しています。実行委員会メンバーの本音も垣間見ることができます。病院でリハビリ中の久野さんにも「皆さんにメッセージを」と無理なお願いを聞いてもらい、原稿を寄せていただきました。協力いただいた実行委員の皆様にも、改めてお礼を申し上げます。

協会のホームページもリニューアルし改良を続けております。会報誌の誌面も次の段階へ進められればと、日々模索は続きます。(大山)

編集メンバーの皆さんはそれぞれの担当記事を取りまとめるのに大変苦労しながら、各委員会の委員長に原稿をお願いしているようですが、すべて思い通りにいかないことも多いようです。多くの会員の皆様に読んでいただけるよう、各委員会のご協力をよろしくお願いいたします。(市毛)

第32回会員親睦ゴルフ大会に参加し、市毛理事の奥さまと初めてコースを回りました。たいへん上手でした。楽しい一日でした。また機会があったら一緒に！(埗)

2015年は全国大会茨城大会もあり、たいへんな一年でありましたが、皆様のご協力もあり今号も無事発行することができました。毎度ありがとうございました。次回もコリズによりしく願います！(鈴木)

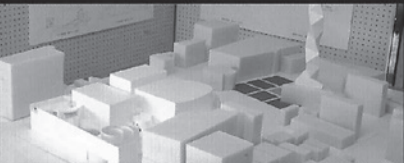
今回は建築士事務所キャンペーンとして参加した「建設フェスタ」の報告記事を担当することとなったが、建築士会の原稿も抱えており、目いっぱいだったので原稿をアップするのがたいへん遅れてしまいました。大山委員長にはご迷惑をかけてしまい「本当にごめんなさい」という感じです。次回なんらかの役割が廻ってきたら、皆さんにご面倒をかけないようにしたいと思います。反省m(._.)mしきり……。 (中崎)

会報 茨城

2016年1月第62号
発行 平成28年1月1日(年2回1・7月発行)
発行部数 900部
発行所 一般社団法人茨城県建築士事務所協会
会長 横須賀 満夫
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
建築会館2階
TEL.029-305-7771 / FAX.029-305-7791
ホームページ <http://www.i-jk.org>
Eメール ikyokai@i-jk.org

デザイン 有限会社平井情報デザイン室
印刷所 株式会社あけぼの印刷社

IBARAKI ARCHITECTURE STUDENT EXHIBITION VOL.02



第2回 茨城学生建築展

展示期間 / 2016 2.17wed-21sun 10:00~16:00 最終日~14:00まで

展示会場 / 笠間の家 笠間市下市毛79-9

表彰式 / 平成28年2月21日[日] 13:30~

趣旨
本協会は、建築文化の向上と発展に努め、公共の福祉の増進ひいては地域文化の活性化に寄与することを目指して活動しています。「茨城学生建築展」は、こうした趣旨の一環として発足しました。この賞は、県内に建築系学科を有する学校各位と連携のもと、優秀な作品を表彰し、学生諸君にエールを贈ると共に、交流を深め、建築設計業界が社会に貢献するための下地作りを目的として実施するものです。

募集対象
県内の建築関連科目を有する学校に在学する学生の個人及び団体(グループを含む)の作品。卒業作品にはこだわらず、各学年に広く求めます。(大学生、専門学校生、高校生を同じカテゴリーとして扱います。)また、他の表彰との重複は問いません。応募部門は右記の通りです。

1. 建築物
2. インテリアデザイン
3. 都市計画(地区計画等を含む)
4. 環境デザイン
5. その他(上記に分類できないもの)

募集方法
応募方法は学校単位とし、応募期間内に必要事項を記入した応募用紙を当協会まで送付してください。(FAX可)応募作品は基本的にパネル(図面及び写真)または模型とし、その他の場合は事務局にご相談願います。また、審査会場へ各自搬入していただきます。

審査
茨城学生建築展審査委員が応募作品の審査を行います。学生らしい発想力とデザイン性を基準とし、新しい考え方を提案する作品など総合評価します。

主催 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階 TEL 029-305-7771 FAX 029-305-7791 <http://www.i-jk.org>
協賛/(一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会 (公社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 後援/笠間市 (株)茨城新聞社



27 茨城 January 2016 No.62

26



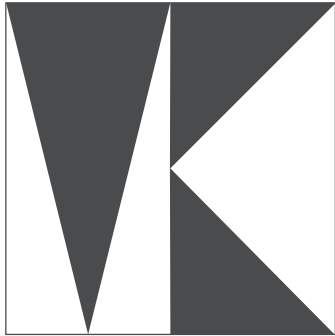
ポルシェセンターつくば



MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

本 社 / 茨城県水戸市南町2-1-18アーキビル 〒310-0021
TEL 029(225)4353 FAX 029(225)1794
東 京 支 店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキョウ101号室
〒166-0011 TEL・FAX 03(5378)6617
つくば営業所 / 茨城県つくば市宝陽台28-1 〒300-1254
TEL 029(896)3978 FAX 029(896)3968
U R L http://www.design-yokosuka.co.jp
E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



MASAHIRO KONO ARCHITECT&ASSOCIATES

株式 河野正博建築設計事務所
会社

代表取締役 河 野 正 博

〒305-0817
つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510
TEL : 029-861-8847 FAX : 029-861-8848
E-mail : info@kono-arc.com URL : http://kono-arc.com/



建築と住まいのことなら！ 一般 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

☆ 当センターのご利用の多いユーザーには
『建築確認手数料の後納制度』があります。

☆ 『レターパック等にて確認申請』を受付けております。

確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認（ルート2 審査対応）、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ！
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険（統括事務機関） 住宅保証機構㈱
- あんしん住宅瑕疵保険（取次店） ㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険（取次店） ㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険（取次店） ハウスプラス住宅保証㈱

3 証券化支援事業業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関（当センター等）による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

- 長期優良住宅建築計画の技術的審査業務

6 低炭素建築物の認定に係る審査業務

- 低炭素建築物新築等計画に係る技術的審査業務

7 構造計算適合性判定業務

8 耐震診断・補強計画判定業務

9 住宅・建築の相談業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00～16:00（12:00～13:00 昼休み）



<http://www.ibakenju.or.jp/>

お問い合わせは 一般 茨城県建築センター ※営業時間／午前9時～午後6時まで（第2・4・5土曜及び日・祝日を除く）

■本部事務所（水戸市） 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 TEL 029-305-7300 FAX 029-305-7310	■県南事務所（つくば市） 〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1 TEL 029-860-8088 FAX 029-860-8090	■県西事務所（古河市） 〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1三友ビル5F TEL 0280-75-2600 FAX 0280-75-2603
---	--	--

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

平成28年 元旦

一般財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸
職員 一同



行方市立麻生幼稚園

設計・工事監理
株式会社 桜設計事務所
 代表取締役 山田 博 通
 〒310-0851
 水戸市千波町1239 ☎029(241)8441
 ☎029(241)8579
 E-mail: cnsakura@cocoa.ocn.ne.jp

合 同
会 社

建築設計・監理 1級建築士事務所
建築工房 Koakutsu

本 社 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 2586
 設計室 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 925-6
 エクセルシオール・S 103号
 TEL 029-304-6236 FAX 029-304-6225



株式
会社

松本総建

代表取締役会長 **松本 一幸**

— 特定建設業 —

茨城県知事許可（特-24）第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
 TEL 029-295-7715(代)
 FAX 029-295-6548

本 社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
 営 業 所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6
 第一機材センター 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1
 第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1
 第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2

《営業内容》 ■ 枠組足場工事 ■ くさび式先行手摺足場 ■ 鉄骨建方工事
 ■ 建築土工事 ■ 土工事 ■ 外構工事

MEDIA CROSS MITO

企画・編集から印刷・加工まで承ります
 広告・ホームページ制作・情報誌・ポスティングetc.



クロスメディア展開の創造とサポート
 株式会社 メディアクロス水戸 〒310-0841
 茨城県水戸市酒門町4269-6
TEL.029-247-4171 FAX.029-247-4696
 HP <http://www.mx310.jp> E-mail info@mx310.jp

ふらぎ 茨城版
 18万部発行
 毎月25日から水戸、ひたちなかエリアに
 無料ポスティング、設置。
 県内の大型ショッピングセンターに設置。
<http://www.plaza-mito.co.jp>



街と人がつながる生活情報誌

県南版
Plaza
 月刊
 10.5万部発行
 毎月25日からつくば・土浦他エリアに
 無料ポスティング、設置。
<http://www.joyo-plaza.co.jp>



- メディアサービス
- クリエイティブ&ブランディング
- セールスプロモーション
- イベント
- マーケティングリサーチ
- 出版事業



総合広告代理店
茨城弘報株式会社
www.ibakoho.co.jp

■本社／水戸市酒門町4269-6
 TEL.029-304-5040(代)
 ■日立支社／日立市石名坂町1-42-51
 TEL.0294-54-2055
 ■月刊ふらぎ専用
 TEL.029-304-0071
www.plaza-mito.co.jp

ホームページを作り続けて、おかげさまで15周年。

有限会社システム・アシスト

企業サイト
EC サイト
Facebook
ブログ

ホームページ
メンテナンス
(管理運用)

Web システム開発

店頭用・イベント
・PR 映像制作

当社サイトより制作実績をご覧ください。

<http://www.system-assist.com/>



〒143-0015 東京都大田区大森西 3-31-8 ロジェ田中ビル 6F
 TEL:03-5767-7441 FAX:03-5767-7442 info@system-assist.com

店頭用映像、ウェブ制作はシステム・アシストにご用命ください



京都と 琵琶湖畔の 名建築を めぐる旅

今回の建築視察研修は、沼田研修委員長をリーダーとして舟幡・河野両副会長をはじめとする総勢33名の一行で、世界一の観光都市である京都と、ラムサール条約登録地で国内最大の面積を持つ琵琶湖畔に建つ歴史的建築物や現代建築を、平成27年11月13日(金)～15日(日)の3日間をかけて視察研修してきました。

報告・撮影―研修委員会 大槻薫

11月13日(金) (1日目)
集合・出発 うす曇りの天気、東京駅八重洲口地下の「銀の鈴」に参加者33名が集合し、9時50分発のぞみ106便に乗り込み3日間の研修旅行にいざ出発。雪の衣に替えた富士山を右手に見て、2時間18分、予定通り12時8分に京都駅に到着。奈良観光の貸し切りバスで研修コースに向かう。今にも雨粒が落ちてきそうな天気の中、鴨川を左に見ながら京都市内を知恩院へ。

知恩院、 国宝・御影堂 大修理現場視察

知恩院は京都東山区にある浄土宗総本山の寺院、山号は華頂山。詳名は華頂山知恩教院大谷寺。本尊は法然上人象および阿弥陀如来、開基は法然上人で、その御影をおまつりしてできたお堂である。建築様式は唐様を取り入れた和様、大きさは、奥行き35m、間口45m。周囲に幅3mの大外縁がある知恩院最大の堂宇で、面積は日本で5番目に大きい寺院建築。1633年(寛永10年)火災により焼失し1639年(寛永16年)に徳川家光により再建、平成14年国宝に指定されたそうである。

現在は8年計画で屋根瓦の全面葺き



重ねてきた時間が、確かな絆を育んでいく。
シアワセを記憶する、ホテル。



伊勢屋グループ

水戸プラザホテル

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1

■お問い合わせは

Tel.029-305-8111(代表)

<http://www.mito-plaza.jp/>

建築を息づかせるもの

建築は、

- その存在を象徴するロゴやシンボルマーク
 - 空間構成の伝達や導線を担うサインシステム
 - そこでの活動を効果的に伝える各種メディア
- などを得ることにより息づきはじめると私たちは考えます。

「わかりやすく、魅力的に」をモットーに。
私たちの仕事は、人と建築を結びます。



HIRAI INFO-DESIGN STUDIO
Consultants in Visual Communication

有限会社

平井情報デザイン室

茨城県水戸市笠原町600-17

朝日ビル206 〒310-0851

TEL 029-291-5899[担当:平井]

FAX 029-305-5257

n.hirai@info-design.co.jp

国内・海外団体旅行のお申込・お問い合わせはお気軽にどうぞ!

近畿日本ツーリスト

近畿日本ツーリスト株式会社

近畿日本ツーリスト(株)水戸支店

〒310-0015 茨城県水戸市宮町2-4-33

TEL 029-225-1015

FAX 029-231-7841

Eメール mito-dantai@or.knt.co.jp

替えをはじめ老朽、破損箇所の取替えと補修、軒下の修正、耐震診断調査に基づく構造補強を行っているため、建物全景は5億円をかけた仮設鉄骨に覆われ見えないが、知恩院の僧侶の方に改修現場内を案内していただき、工事の進捗等の説明を受けることができた。次に山門に登り秋の深まる京都市内を一望。

京都国立博物館

京都国立博物館は1897年（明治30年）に創設された。収蔵品の鑑賞施設

だった平常展示館を建て替え、2014年9月13日にオープンしたのが「平成知新館」だそうで、設計者は、ニューヨーク近代美術館新館、東京国立博物館法隆寺宝物館などを手がけた谷口吉生氏。当日は琳派誕生400年記念の特別展覧会が開催されており、特に風神雷神図屏風の迫力ある構成が素晴らしい、世界に誇れる日本文化を堪能してまいりました。

三十三間堂

国宝、三十三間堂。正式には蓮華王院といい1164年（長寛2年）鳥辺山麓（現阿弥陀ヶ峰）の後白河上皇・院政庁「法住寺殿」の一面に平清盛が造進した。約80年後に焼失したが、すぐに復興に着手し1266年（文永3年）に再建された。その後、室町・桃山・江戸そして昭和の大修理により700余年間保存されている。長いお堂は和様の入母屋・本瓦葺きの「総桧造り」で約20m、正面の柱間が33あることから「三十三間堂」と通称され、堂内には1001体の観音像がまつられている。堂内両端のひときわ高い雲座にのった風神と雷神像は力強く躍動的で、太鼓を打つ雷さまと風の神というイメージを決定づ

けた鎌倉彫刻の名品(国宝)である。先ほど見た琳派の風神雷神図はここから来たのかと思うと京都の歴史はまさに日本文化。

境内を散策すると南側に通称「太閤堀」と呼ばれる築地堀と南大門。ともに豊臣秀吉ゆかりの桃山期の気風にあふれた重文・建造物であった。

ホテル到着・夕食 日も暮れて小雨が降ってきた風情ある京都の町をバスに揺られてホテルに到着。夕食は各自自由行動であるが、事務局が事前に食事を準備し17名が向かった。他には京都の知人と待ち合わせ舞妓さん付で座敷に上がった方、同様に祇園のお座敷で会食した方々など様々に京都の味を楽しんだ模様。

京都国立博物館



三十三間堂



東寺



11月14日(土)(2日目)

バス移動 朝食のあと、昨夜から降り続く雨の中を貸し切りバスに乗り込み東寺に向かう。

東寺見学

東寺に着くと雨がやんでいた。境内に高くそびえる東寺は、空海が嵯峨天皇から勅賜された時には塔はまだ無く、883年（元慶七年）に竣工したが、その後、4度焼亡し現在の国宝・五重塔は江戸時代1644年（寛永21年）五代目の塔に当る。日本では唯一の高さ55m本瓦葺塔の塔心が各層ごとに、軸部・組み物・軒を組み上げ、これを最上層まで繰り返す積み上げ構造になっていて、木材どうしも切り組や単純な釘打ち程度で、緊結されていない柔構造。地震のエネルギーは接合部で吸収され、上部へ伝わるにつれて弱くなるとともに、下と上の層が互い違いに振動することになる。柱も各層では短いため、倒れようとする力よりは元に戻ろうとする復元力の方が大きいので地震に強い耐震構造である。この構造はスカイツリーにも取り入れられている。内部は心柱を大日如来に見立て、その周囲の須弥壇上に阿しゅく如来、宝生如来、阿弥陀如来、不空成就如来の金剛

界四仏と八大菩薩を安置している。

伏見稲荷神社散策

全国で3万箇所あると云われる稲荷信仰の原点が稲荷山であり、総本山がこの伏見稲荷神社。稲荷大神様がこのお山に御鎮座されたのは、奈良時代の710年（和銅2年）で2011年（平成23年）に御鎮座1300年を迎えた。

時間の都合で、朱色の鳥居を潜り稲荷山の3合目にあるお宮まで行き、戻った。

南禅寺

雨が強くなり各自傘を持ち、南禅寺へ。臨済宗南禅寺派大本山の寺院で山号は瑞龍山、寺号は詳しくは太平興国南禅寺で本尊は釈迦如来、開基は亀山法皇1264年（文永元年）、開山は無関普門。素晴らしい方丈庭園（名勝指定庭園）は禅院式枯山水の庭園。清涼殿、庭園、借景の羊角峰大日山等の山並みと三者が良く調和して、優雅枯淡で品格のある借景式庭園を堪能した。

戻り道に赤レンガのローマ風な水路をくぐって南禅寺院に寄り、重要文化財の山門前でシャッターを押してバスに戻る。

移動（高速道路） 高速に乗り1時間程で竜王ICを降りて佐川美術館へ。

伏見稲荷神社



南禅寺



佐川美術館

佐川美術館は佐川急便株式会社が創業40周年記念事業の一環で1998年（平成10年）に建設。設計・施工は株式会社竹中工務店。雨のため目の前の琵琶湖の先に比叡山・比良山を望むことはできなかったが、敷地の大部分を占める水庭にたたずむ3棟の建物の調和の取れた建築美は多方面から高い評価を受けグッドデザイン賞など10もの賞を受けている。館内では日本画家の平山郁夫、彫刻家の佐藤忠良、陶芸家の樂吉左衛門の作品を中心に展示している。

佐川美術館

琵琶湖グランドホテル（宿泊・懇親会）
この日の夜は懇親会。河野副会長の挨拶、青山常務理事の乾杯の音頭で懇親会が始まる。二日目で気心が知れて来たのか飲み物の効果が宴は多いに盛り上がり、沼田研修委員長の締めで懇親会が終了した後も、各部屋でさらに参加者同士の友好を深めた夜でした。

11月15日（3日目）

出発 朝食を食べ、今日も奈良観光の貸し切りバスで研修コースに向かう。

クラブハリエ・ラコリーナ 近江八幡

ここはバームクーヘン専門店。自然との共生をテーマにした建物、屋根には芝、天井には木を植え、内部は吹き抜けで壁・天井を漆喰で塗り、天星のように炭で模様をつけている斬新なデザインだ。バームクーヘンのほかいろいろなお菓子を販売していて、朝早くから若い女性や家族連れが数多く来店していた。この事業の計画を見ると、近江商人の企画力、集客のアイデアのヒントが隠されていると感じる。

長浜・ヤンマーミュージアム

ヤンマー株式会社創業100周年記念事業の一環で創業者の生誕地、滋賀県長浜市に建設されたミュージアム。設計は株式会社日本設計。ヤンマーの3つの事業領域である海洋・大地・都市を、前面の水盤、屋上緑化・ビオトープのある大屋根、ガラスとコンクリートの素材で建築デザインとして端的に表現した建物。

長浜で昼食 秀吉が初めて一国一城の主となった出世城のある長浜の町。昭和63年、北国街道周辺の老舗が集まり「北国街道うまい処うだつ会」を設立し、

クラブハリエ・ラコリーナ 近江八幡



ヤンマーミュージアム

店ごとに郷土色豊かな独自性を打ち出す試みが成功した再生町。「浜いち」で豆腐料理をいただきました。

移動 高速を2時間ほど走り名古屋駅に到着し、16時3分発ののぞみ234号で17時43分東京駅に到着。東京駅で流れ解散となりました。

大雨の予想でしたが、見学中はさほど降られることがなく、歴史ある建物や現代の建物の視察研修を終え、無事に帰途に着きました。

今回もたいへん有意義な研修となったと思います。企画運営に関わった関係者の皆様、大変お疲れさまでした。

第39回建築士事務所全国大会「茨城大会」を終えて

——実行委員会各部会リーダー・サプリーダーたちによる大会後記

総務部会

終わってみれば、大成功！

準備期間も含めお疲れさまでした

総務部会リーダー 小川 憲一

「とうとうこの日が来た」——当日朝の率直な感想。それともう一つ、実行委員会が立ち上がってからかれこれ3年。まだ終わっていないけど「長かったなあ」という思い。泣いても笑っても今日一日、考えられることはやってきたと自分に言い聞かせ、朝早く式典会場である県民文化センターに向かった。

朝礼を行い、自分たちの部署であれやこれや再確認しつつ、式典リハーサルが気になったが、そこは式典部会にお任せすることにした。10時から気構えていた受付は緩く始まり、「記念対談」の時間にホール内を覗いてみると客席側に観客が全然いない。講師の先生に申し訳なく、早く単位会が到着しないかとやきもきする。さすがに「基調講演」では、ある程度の席が埋まりひと安心したが、今度は屋外での飲食・物産コーナーが気になった。

当日の天候は曇りから小雨模様で、飲食ブースの売り子さんに聞いてみると全然売れていないらしい。自前でいくつかの商品を買って食べたが、結構良かったんですよ、コレが。飲食ブースの方々に大変申し訳なく思う。

総務部会のリーダーとして、私は式典会場の受付回りをメインに、各部会との連携や全体の動きなどの把握に務めた。結果として、大会式典では、小さなドタバタはあっても、大きな失態はなかったと思う。区切りがついたところで皆より先に交流パーティーが行われる水戸プラザホテルに向かった。

交流部会が担当であるが、総務としてもバックアップしなければならぬ。会場に入り、ドーンと目に飛び込んできたのが、ステージ上に鎮座したとってもビッグなスピーカー！こりゃなんだーと思うとともに嫌な想いがよぎった！大音量の中うるさくて欲談できず、来場された人々がこぞって帰っていく、客がいなくなり寺内タケシさんが怒鳴る、こちらでは平謝り！と最悪のシナリオだ！正直ヤバイと感じたが、やるしかない。

参加者が式典会場からスムーズにホテルに移動してきて、ひと安心。進行通り来賓紹介・祝辞から鏡割り、乾杯となり、和歌山会のPR。和歌山会の皆さん再来年頑張ってくださいねと思いつつ、やってきましたアトラクション。どうなるんでしょうか？

思ったほどの大音量ではなく、皆様の世代に合ったのか会場はノリノリで大喝采！アンコールもあり大盛況でした。皆様に喜んでいただいていたのに勝るものはなし！ですが、最後まで気が抜けずホトホト疲れた一日となりました。

総じて大きな問題なく大成功に終わった大会だったと感じています。茨城会の皆さん、長きにわたりお疲れ様でした。

その時は 大切な時空を乗り越えて

総務部会サプリーダー 久野 正行

その日の空は雲に覆われ、とても静かにその時を迎えました。突然病床に伏すことになり、残念ながら私は多くの仲間

とともに全国大会「茨城大会」の中に身を置くことができました。柴名譽会長、横須賀会長、直接の陣頭指揮をとられた舟幡副会長、そして多くの実行委員の皆様によって、大会が滞りなく盛大に開催されたことは、私にとって何よりうれしいことでした。

大会において「総務」の担当は「すべて」ということでした。交通も、会場も、人員も、予算も、食事も、とにかくすべてでした。そのすべてに関わることでできた私が、不在となることは、なんとも歯がゆい思いでした。総務部会では小川リーダーには苦勞をかけ、井坂サプリーダーや小室総括にバックアップしていただいたことに感謝します。

私にとってたった一度の、茨城での開催となる全国大会を終えての感想は、その時を大切なものとして、多くの仲間と共有し、共鳴し合い、共感を持つことができました、ということ。次回の地方開催となる和歌山の同志にその想いを託し、時空を越えて届けたいと思っています。今大会に参加した実行委員の皆様、茨城会の事務局スタッフに感謝いたします。



全国各地からの参加者と梅大使の
笑顔を写真に収めつづけた一日

総務部会サブリダー 井坂 光宏

総務部会では、文化センターホール、水戸駅、交通・駐車場、飲食・物産、弁当、梅大使、来賓給仕、交流会サポートなどさまざまな役割がありました。40名のスタッフにそれぞれの担当をこなしていただき、無事に大会を終えることができました。私自身は文化センターの外部指示ということもあり、天候を気にしていましたが、小雨程度で混乱もなく案内をする事ができました。文化センターの階段で記念写真を撮って一日が過ぎましたが、参加していただいた方々の笑顔で（梅大使がいるためか？）疲れは感じませんでした。式典の中に入る時間はありませんでしたが、充実した一日となりました。

企画・広報部会

オープニング映像・弘道館修復映像
がトラブルなく放映され達成感

企画・広報部会リーダー 富田 清一

当日、当部会メンバーは記念誌等配布物の準備、振袖で装った梅大使と共に、来場者の出迎え、日事連建築賞・茨城建築文化賞等が展示され、弘道館修復映像が放映されている小ホール2階会場への誘導用チラシの配布・受付案内等、裏方に徹しました。とはいえ、当部会では大会までに記念誌の作成やオープニング映像の確認、さらにオープニング映像に「関東・東北豪雨」による常総市における洪水被害において当協会が対応した活動の紹介、全国の皆様にご支援いただいたお礼等のメッセージ挿入、当日放映した弘道館修復映像の編集等々、重責を担う作業が多くありました。

弘道館修復映像は小ホール2階の展示会場で放映しましたが、展示物を見る傍ら、映像に熱心に見入る方も多く見られ、関心の高さが視えました。基調講演が終了し、オープニング映像放映の後、記念

式典に移りましたが、大きなトラブルも無く大会式典を終えたことは、各担当部会メンバーや多くの協力者のお陰だと思っています。会場内では、各地で活躍されている多くの知人とも再会し、旧交を温める機会を得ました。今、大会を終えて達成感を感じています。

大会テーマを決定し、そのもとで
皆が一丸となり行動できた歓び

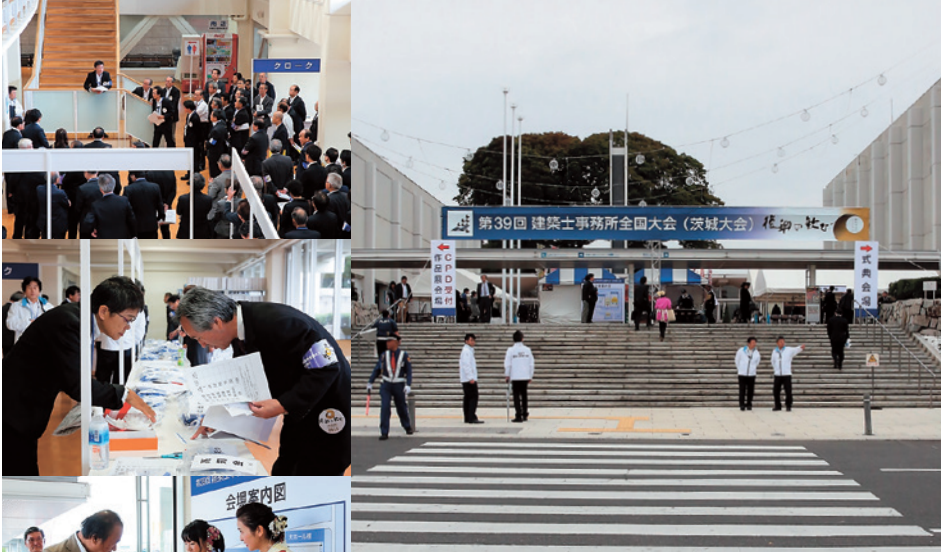
企画・広報部会リーダー 柳下文江

企画・広報部会のうち、企画委員会としては大会開催前に完了すべきポスターや表示看板等と大会当日のクロークの担当となりました。伊勢大会、東京大会と二年に渡り、どのような掲示物が必要か、設営はどのようにされているのかを学ばせていただきました。

大会目標の一つとして、参加された方に茨城県を知っていただき楽しんでいただくことを大きな目標と捉え大会テーマの募集をしました。東日本大震災から4年を迎え各地での復興状況も様々な状態ではありますが、震災被災地でもあり



第39回建築士事務所全国大会 (茨城大会)



大会をPRするメディアに続き、
記録のためのメディアを鋭意作成中

企画・広報部会サブリダー 大山 早嗣

第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）が予定通り開催され、大きな混乱もなく無事閉幕したこと、まずはほっとしています。思い返すと、実行委員会が立ち上がった当初は総務部会の一員として大会全般に関する内容に携わっていましたが、広報委員長になった時点から企画・広報部会のサブリダーに配置換えとなりました。茨城会で広報委員会に携わることも初めてであり、まさに試行錯誤の連続でした。しかしながら富田リーダー（広報委員会前委員長）をはじめ広報委員会ならびに実行委員会の各メンバー、そして委託先の各デザイン会社、日事連・茨城会事務局の皆様から多大な協力をいただき、何とかこなすことができましたものと感謝の念に堪えません。改めてお礼を申し上げます。

広報担当としては大会当日の役割は特段無いと言いつつ、総務部会のサポートで来賓誘導から撤収確認まで多岐に渡りましたが、本来の役割として大会までの

PR映像、会報等での告知記事、記念誌、リーフレット作成など公開すべき情報を期日通りに提供することが求められました。また、大会後も報告記事を会報に掲載するなど、原稿依頼と締切前後の催促、その連続でした。

でも、広報担当として最も役得なのは、記念誌をはじめとした誌面としてメディア自体が残ることです。まさに記念になります。ありがとうございました。

何度も話し合いを重ね実現した、
オールカラーのハンディな記念誌

企画・広報部会サブリダー 小谷野 栄次

約1年間の準備期間中には幾度かの委員会に参加し、広報の役目であるポスターの作成、新聞及びインターネットへの広告そして大会誌の作成の3つの仕事をしました。やはり大変だったのが大会誌の作成でした。サイズ、内容等について委員会のメンバー全員で何度も話し合えていきました。この話し合いで、大山委員長の努力があったから完成したと思っています。仕上りは上々と考えま

交流会部会

寺内タケシ氏の、手を抜かない
プロの姿勢・迫力が心が震えた

交流会部会リーダー 宮本 久

10月16日(金)、長く大変な一日でした。式典用の袋詰めの手伝いが終わったなと思って一息つく間もなく、連合会の事務局から、記念パーティーの進行の打合せがしたいと連絡が入る。楽屋の一室で修正が始まる。来賓の肩書きの提示がある。鏡開きの人選と呼びあげる順序の調

開催地でもある茨城から被災地の復興を祈り願い、そして叶うという思いを込めて「復興の歓び」をメインテーマに、サブテーマには過去を明らかにして未来を考えるという意味の「彰往考来のこころに学ぶ」と決定しました。テーマのもと実行委員の大会開催へ向けての意識の共有が図れ、一丸となり行動できたのではと思われま

次はテーマに沿って茨城らしさを表現するポスターデザインへの作業となります。また掲示物の種類の多さは来場していただいた方がスムーズに大会を楽しんでいたただくために洩れなく掲示することを心がけて対応いたしました。掲示物関係は大会当日までにはすべて完了。当日はクロークと総務担当の受付、来賓のご案内を受け持ちました。私は大会当日も楽しみながら活動することができました。

総務・式典・記念講演等大会当日が本番の委員会の方々それぞれの担当分野に責任を持ち、来場者に楽しんでいただくことを最大の目的に行動されたことが、大会終了後の心地よい疲労感と満足感を感じることへと繋がったのではと思われま

整、確認のために手書きで大至急直す。それを元に再度事務局に確認してもらう途中、大内連合会長も加わり、意向を確認してさらに直す。なんとか事前準備の進行表と手書きの進行表を合成した進行表が2時間後にできあがる。

午後はプラザホテルの準備確認と司会進行の打合せである。それにしても、寺内タケシはすごい。私がホテルに着いた13時半に彼はすでに到着していて、ステージの準備をずっと見守っていた。リハーサルが始まるとマイク片手にメンバーに音を指示し、最後は自分のエレキの音を納得いくまで機器調整。リハーサルは約1時間続いた。終ったのは17時半前。ボーカルの女の子も含めて、全員手を抜かないリハーサル風景だった。プロのバンドのリハーサルを初めて見聞きし、あまりの音の迫力と、美しさ、透明感のある声等に心が震えた。「うるさくて話もできず、飲めもしないよ。みんな帰っちゃうよ」という数人の委員からの声もあったが、私は逆を予想した。予想通りでした。

パーティーが好評に終わり皆で安堵
大会開催に巡り合えた好運に感謝

交流会部会サブリダー 小坪 真司

全国大会記念パーティーの準備担当となつた私たち会員委員会メンバーは、会場となる水戸プラザホテル側と幾度も打合せを重ねつつも、「これで大丈夫だろうか」と、心配が尽きぬまま大会一カ月前を迎えてしまいました。大会直前まで最終決定に至らない事項もあり、不安を抱えたまま当日を迎えることになったのですが、式典から記念パーティーへの移行、記念パーティー開会から閉会まで流れるように時間が過ぎ、終わってみれば、他県から参加された方々からも好評との感想をいただき、委員皆で安堵の表情を一緒に浮かべたものでした。

今振り返ってみれば、宮本理事と金澤委員長のお二人が詳細な作業をこなしてくださり、私たちの負担を軽くしてくれていたことに、改めて思い至りました。

茨城大会の開催年に巡り会えた幸運と、協会員の皆さまとの素晴らしい思い出を得られたことに感謝します。



迷惑をおかけしたことも少なからずあったとは思いますが、無事終了した後、会場内の片付けをしながら安堵の気持ちでいっぱいになりました。

大きな跡を小さくして 舞台下から各登壇者に合図

会場部会サブリダー 石川 啓司

当初、委員会担当がエクスカーションでしたが、企画段階でゴルフを除き中止となり、式典会場部会の会場担当となりました。暫くは出遅れ感があり何処から手を付けていいのか実行委員会でのプレゼンも現実的に練れずに、日事連本部の訪問を受けるにあたって、さまざまな指導を受けることとなりました。こちらで準備した席順表や式典の手順等もまったく異なるものになって慌てましたが、研修委員会の皆様や他委員会の御協力もあり、手薄だった会場担当も増員され、徐々に部会の体をなしてきました。前日の深夜におよぶ本部事務局からの指定席見直し等のご指示も、事務局に持ち帰り作り直して翌朝の本番に間に合わせることでできました。直前のリハーサルは大

大会式典部会

式典進行を成功に導いたのは、
スタッフ一人ひとりの責任感

大会式典部会サブリダー 上久保 博隆

大会式典進行の担当となつて1年半、皆様のアドバイスをいただきながら、進行スケジュールの作成、ステージ上の備品の設定、式典スタッフの担当割りや個々のタイムスケジュール作成等の事前準備を進め、前日からのリハーサルで、役員の方々と、式典をお手伝いいただいた梅大使の動きの確認により、最終調整を行い、本番に臨みました。

当日の本番直前まで進行台本の変更等の調整がありながらも開会になり、式典の途中では予定進行時刻からの遅れが13分、来賓の方の退席予定時刻に合わせて進行の調整が必要になるかと思われましたが、その後の表彰式が順調に進み、最終的には予定時間内に閉会することができました。

式典スタッフはお客様の前には現れない舞台裏の担当ですが、一人ひとりの役割が式典の進行に直接影響する重要な



きな混乱もなく、開場、開幕を迎えることができ、本番へ。式典は順調に進み、表彰式において受賞者の動きを確認し、サポートするのが今回の山場です。登壇者がスムーズにステージに向かっていくよう事前に合図を送り、タイムラグができないよう、大きな跡を小さくし（無理）目立たないよう一人ひとりを送り出しました。すべての登壇者・受賞者のセレモニーが終わったときには胸をなでおろしました。最後の締めとして退場退出の誘導をブロックごとに行い、無事大団円を迎え、懇親会場にバトンタッチ。あとはひたすら撤収作業です。運営スタッフの協力のうちに睡眠不足の長い二日間が終わり、夜の反省会へと向かいました。

係でした。各々に担当役割をお願いした後、それぞれの役割の不明な点についての質問や提案をたくさんいただきました。これは、各担当者が、自分の担当役割の重要性を理解し、責任感をもって役割をこなそうとしていることの表れだと感じました。そして、前日からの準備や直前のリハーサルについても、各々が積極的に行動し、提案し、全員で式典進行にあたるという雰囲気できていました。本番の式典進行を成功に導いたのは、式典スタッフ一人ひとりの思いが一つにつながった結果だと思います。式典スタッフの皆様には感謝申し上げます。

とにかく忙しくめまぐるしい中で
終わってしまった式典

大会式典部会サブリダー 本澤 幸一

茨城大会では大会式典部会の庶務委員会委員長を務めさせていただきました。

私の主な役割は部会会合の連絡調整担当でした。部会全員にメーリングリストを作成しての連絡調整等、大会前の役割が主でしたが、当日は何かと忙しく（何



講演・作品展部会

反省や惜しまれる点はあれど
無事担当部会の任を果たせて感謝

講演・作品展部会リーダー 鎌田 富士夫

本大会に向けて、講演・作品展示部会のリーダーを任された時、経験がなかったことから正直少し困惑しましたが、実行委員会が幾度も招集され、経験豊かな委員からのアドバイスのお蔭で、無事担当部会の任を果たせました。感謝いたします。

しかし、反省点もありました。本誌7ページでも書いている通り、届いた日事連建築賞パネルのスタイルが統一されていなかったことに加え、もともと予定していた壁面への取り付け工法では無理なことが判明。若干の見栄えを犠牲にした工法に変更することになってしまったこと。また、式典の前に行われた鈴木暎一氏・小坪のり子氏による対談の開始時間帯に、客席の空が目立ったこと。両先生には大変申し訳なく感じました。後半には客数も増えたのですが、やはり最初から聴いていたかった。もう一点、各先生のプレゼンテーションを映写する

で忙しかったのか解らない）、担当の式典にゆっくり参加できなかったことが残念です。今回の大会感想としては「忙しく準備進行して終わってしまった式典」です。

会場部会

エクスカーション中止は残念ながら、
名コースでのゴルフコンペを提供

会場部会リーダー 沼田 弘次

私の所属している委員会は、地域交流会（エクスカーション）担当で、見学する県内の地を選び、各コースを選定し、スタンバイOKの状態でありましたが、今大会はエクスカーションは行わないということになりました。唯一、ゴルフコンペが大会翌日に行われ、ゴルフ場設計の巨匠である井上誠一氏設計による大洗ゴルフ倶楽部において（内容はともかくとして）ゴルフを楽しんできました。

式典当日は会場を担当しました。不慣れな案内役で、来ていただいた方にはご

スクリーンがもう少し大きかったらと感じられ、惜しまれます。

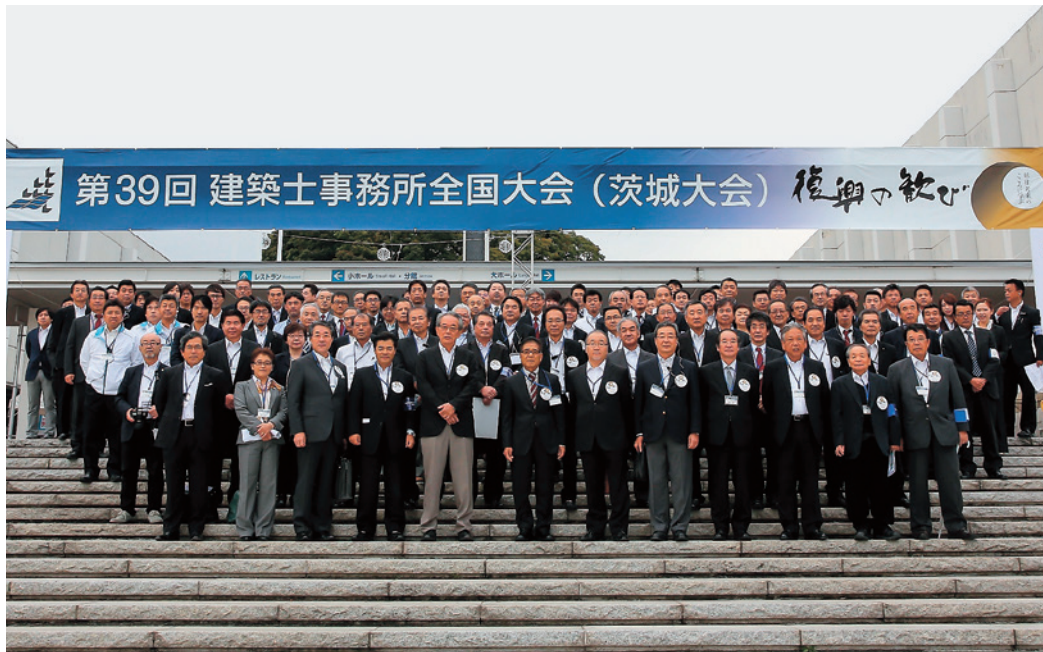
2年後の和歌山大会の
成功へとつながることを祈って

講演・作品展部会サブリダー 藤井 耕市

当委員会（景観まちづくり委員会）は、対談「弘道館の震災復旧事業に携わって」と基調講演「人びとの集まる、しなやかな建築」、日事連建築賞パネル展示やCPD受付の担当となりました。

対談では、鈴木暎一先生と小坪のり子先生が、また、基調講演では、古谷誠章先生と妹島和世先生がそれぞれ講演を行い、最終的には多くの観客が集まる中、盛況のうちに終了しました。また、日事連建築賞パネル展示にも我々が予想していたよりも多くの見学者の方々が来てくださいました。

大会の成功にあたり、横須賀会長はじめ、大会実行委員、関係スタッフなどたくさんのご協力をいただいた皆様に感謝いたします。最後に、茨城大会の成功が2年後の和歌山大会の成功につながっていくことを願っています。



第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）会場前にて



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<http://www.i-jk.org>